お湯の魅力でお客さま満足度もアップ

全国の「風呂じまんの宿」20軒を紹介

岐阜県・高山温泉

旅館田邊

”飛騨の匠”が随所に

岩風呂・露天

岐阜県飛騨高山の旅館田邊（田辺信義社長）は、70年以上旅館を営むこの地一番の老舗。多くの旅人が同地を訪れ、昭和38年には作家の司馬遼太郎氏が「この里にきてはじめて自分が日本に生まれてきたことを憶うた」との手紙を送っている。意匠や家具など館内の随所に飛騨の匠の心が息づいている。

良質の温泉を堪能できる風呂は、心地よい肌ざわりと木の香りが漂う檜風呂と、野趣漂う天然の岩風呂の2つ。それぞれ趣の異なる和風の浴場だ。朝夕で男女入れ替えを行うため、1回の滞在で両方の湯を楽しめる。

今年春にはリニューアル工事が完了。両方の浴場に待望の露天風呂が加わった。

また、ほぼ同時に開設された新館「遊墨庵」には、半露天風呂を備える客室3室を用意。坪庭を眺めながら心地よく入浴できる民芸風の部屋だ。新館にはほかに、高山風、数寄屋風の部屋を用意。本館の飛騨建築造りとともに様々なタイプの部屋を備えており、訪れるたびに一味違った滞在を楽しめる。

▽岐阜県高山市相生町58。☎0577・32・0529。http://www.tanabe-ryokan.jp/

石川県・辰口温泉

まつさき

庭園にわく良質の湯

露天風呂木犀

金沢の奥座敷、石川県辰口温泉のまつさき（松崎陽充社長）は、明治の文豪、泉鏡花の小説「海の鳴る時」の舞台にもなった老舗旅館。その歴史もさることながら、庭園内にわく良質の温泉もぜひ味わってみたい。県内の他の温泉とは異なる弱アルカリ性で、肌に優しく、いつまでもぽかぽか感が続く滑らかな湯と評判だ。

「本館瑞雲」1階に露天風呂付き大浴場「瑞泉の湯」「八千代の湯」が、「鳳凰」最上階（5階）に露天風呂「木犀」「玉竜」「雷鳥」がある。

男性用「瑞泉の湯」、女性用「八千代の湯」ともに、庭園に面した露天風呂と、源泉をそのままの温度でかけ流している檜風呂がある。

「鳳凰」の3つの露天風呂は、白山連峰や自館の庭園を望む絶景。「木犀」は総檜造り、「玉竜」は岩風呂風で、ともに男女入れ替え制。「雷鳥」は貸し切り制で、50分間無料で利用できる。

客室は庭園を囲んだ5棟にあり、そのうち3棟は露天風呂付き客室を持つ。

▽石川県能美市辰口町3―1。☎0761・51・3111。http://www.matsusaki.jp/

兵庫県・有馬温泉

兵衛向陽閣

創業650年超す老舗の湯

湯治場風の大浴場「三の湯」

兵庫県神戸市の有馬温泉にある兵衛向陽閣は、創業650年を超える老舗旅館。「兵衛」の屋号は、太閤秀吉から授かったと言われている。浴場施設は、有馬温泉の中でも最大級。「一の湯」「二の湯」「三の湯」からなる3つの大浴場や、貸し切り露天風呂も あり、有馬の名湯を心ゆくまで楽しめる。特に、「三の湯」は、9階庭園に06年オープンした、新しい大浴場。昔懐かしい湯治場の雰囲気を再現した。内湯と露天風呂との間に設けられた、開閉式のガラス戸を開放すると、浴室全体が開放感あふれた半露天風呂風になる。

また、「三の湯」から渡り廊下でつながった別棟には、岩風呂の露天風呂やジャグジー、貸し切り露天風呂などが設けられている。木曽ひのき100％のパウダーを使用し、自然発酵熱による温浴が楽しめる「ひのき酵素風呂」も体験できる。

▽兵庫県神戸市北区有馬町1904。☎078・904・0501。http://www.hyoe.co.jp/

鳥取県・三朝温泉

三朝館

肌あたり柔らかな源泉

庭園に包まれた露天風呂「心酔の湯」

鳥取県の三朝館（名越信子社長）は、三朝温泉の中央を流れる三徳川の清流沿いに建つ、白壁に瓦屋根を配した純和風旅館。敷地内にある自家源泉は、三朝温泉随一の湯量。肌あたりも柔らかな源泉で湯浴みを楽しめる。

1千坪の広さを誇る日本庭園風呂では、閑静な庭園に包まれた「庭の湯」と、源泉の滝を囲む「滝の湯」の2つの趣きの異なるお風呂を楽しめる。「庭の湯」の露天風呂では、女性限定で毎週（水・金・日曜日）には、バラの花約200本を浮かべる「ばら妃乃湯」も行われる。

貸切露天風呂「心禅の湯」は山陰最大級と好評。他にも足湯や飲泉場などもあり、12種類の様々な湯めぐりが楽しめる。三朝温泉はラジウム泉として有名で、日本屈指のラジウム含有量を誇る。免疫力や自然治癒力を高める「ホルミシス効果」があるといわれている。

▽鳥取県東伯郡三朝町山田174。☎08858・43・0311。http://www.misasakan.co.jp/

鳥取県・皆生温泉

華水亭

自家源泉と海の絶景

松風の湯露天

漁師が海中に温かい水がわいているのを発見したのが始まりとされる鳥取県皆生温泉。華水亭（伊坂博社長）は、独自に掘り出した自家源泉を持つ同温泉唯一の施設だ。系列の皆生グランドホテル天水とともに利用している。

源泉の名称は宝生の泉。泉質はナトリウム・カルシウム―塩化物泉で、慢性婦人病、神経痛、筋肉痛などに効くと言われている。

日本海と大山を望む同館。そのロケーションを生かした眺望のよさも同館の風呂の特徴だ。

大浴場の男性用「松風の湯」と女性用「大山の湯屋」は露天風呂が内風呂よりも広く、眺望を重視した造りとなっている。

貸し切り家族風呂は、露天風呂「福の湯」「禄の湯」「寿の湯」と、内風呂の「瞑想の湯」。露天風呂は開放感が特徴。内風呂は天井が高く、広々とした造りだ。

館内には露天風呂付き客室を8室装備。プライベート空間も充実している。

▽鳥取県米子市皆生温泉。☎0859・33・0001。http://www.kaike-grandhotel.co.jp/kasuitei/

香川県・花樹海温泉

喜代美山荘 花樹海

視界200度の展望露天

露天風呂付き特別室「水仙の間」

喜代美山荘花樹海（三矢昌洋社長）は、客室、展望大浴場から屋島、鬼ケ島など瀬戸内海の多島美や高松市街地の夜景などを望むことができるロケーション自慢の宿。

視界200度の展望露天風呂からは、瀬戸内海と高松市内の両方を見渡せる。花崗岩岩盤深くからわき出す温泉は、高濃度のラドンが主成分で、毎分200リットルの豊富な湯量を誇る。泉質は弱アルカリ性低張性冷鉱泉で、関節痛、疲労回復、慢性婦人症などに効能がある。ラドンは気化するため、呼吸器から体内へ吸収するのが効果的。湯に浸かり、湯気と一緒にラドンを吸収するのがコツ。

源泉は館内全客室にも引かれ、展望風呂付和室では、刻一刻と変化する瀬戸内の景色を眺めながら、温泉を満喫できる。アジアンリゾートなどをコンセプトにしたデザイナーズルームでは、テラスで露天ジャクジーが楽しめる。

▽香川県高松市西宝町3―5―10。☎087・861・5580。http://www.hanaiyukai.jp/

香川県・こんぴら温泉郷

湯元こんぴら温泉 華の湯紅梅亭

2つの源泉、16の湯処

緑に囲まれた癒しの空間「花てらす」露天風呂

香川県こんぴら温泉郷の「湯元こんぴら温泉華の湯紅梅亭」（近兼弘幸社長）は、2種類の良質な源泉を館内16の多彩な湯処で楽しめる温泉自慢の宿。「湯元こんぴら温泉華の湯」と「こんぴら温泉いこいの湯」の2種類の温泉が堪能できる。いずれも神経痛や関節痛などに効能がある。

独自源泉「華の湯」の泉質はナトリウム・カルシウム―塩化物温泉。庭園大浴場露天風呂「花てらす」で楽しめ、花に包まれた庭園露天風呂をはじめ、檜風呂や岩風呂、立ち湯、湯上がり処などを外湯感覚で満喫できる。

「いこいの湯」の泉質はアルカリ性単純温泉。木の風合いを生かした風情のある地下大浴場「花すみか」で楽しめる。「たき湯」や「あわ露天」のほか、女性客には、朝はデンファレ、夜はバラの花びらを浮かべた「華風呂」など、趣向を凝らした湯浴みができる。

▽香川県仲多度郡琴平町556―1。☎0877・75・1111。http://www.koubaitei.jp/

愛媛県・道後温泉

道後館

江戸のにぎわいを今に

広々とした大浴場

愛媛県道後温泉の道後館（白倉一成社長）は、広々とした大浴場と、部屋ごとに趣向を凝らした客室露天風呂を備えている。「かつて江戸時代の旅人が味わったにぎわい、人情を蘇らせるために生まれた」という同館。古きよきものを大切にしつつ、現代風のサービスを調和させ、訪れた人々に満足を与えている。

古い町並みを彷彿させる「湯けむりの道」を抜けると、石と木の野趣に富んだ和の空間、大浴場に出る。あつ湯、ぬる湯、打たせ湯、露天風呂、寝風呂、サウナ――と種類が豊富で、開湯3千年の”日本最古の湯”を思う存分味わってもらえる。

「松風楼」7階の全9室は、部屋ごとに意匠の異なる露天風呂付き。庭に配した風呂は、石、木、タイルなどを素材に形も様々。「蜜柑（みかん）の湯」「白鷺の湯」など、当地にちなんだ名前も付けられている。

湯は道後温泉の100％引き湯を利用。

巨匠、黒川紀章氏設計の建築も注目したい。

▽愛媛県松山市道後多幸町7―26。☎089・941・7777。http://www.dogokan.co.jp/

5面にも特集